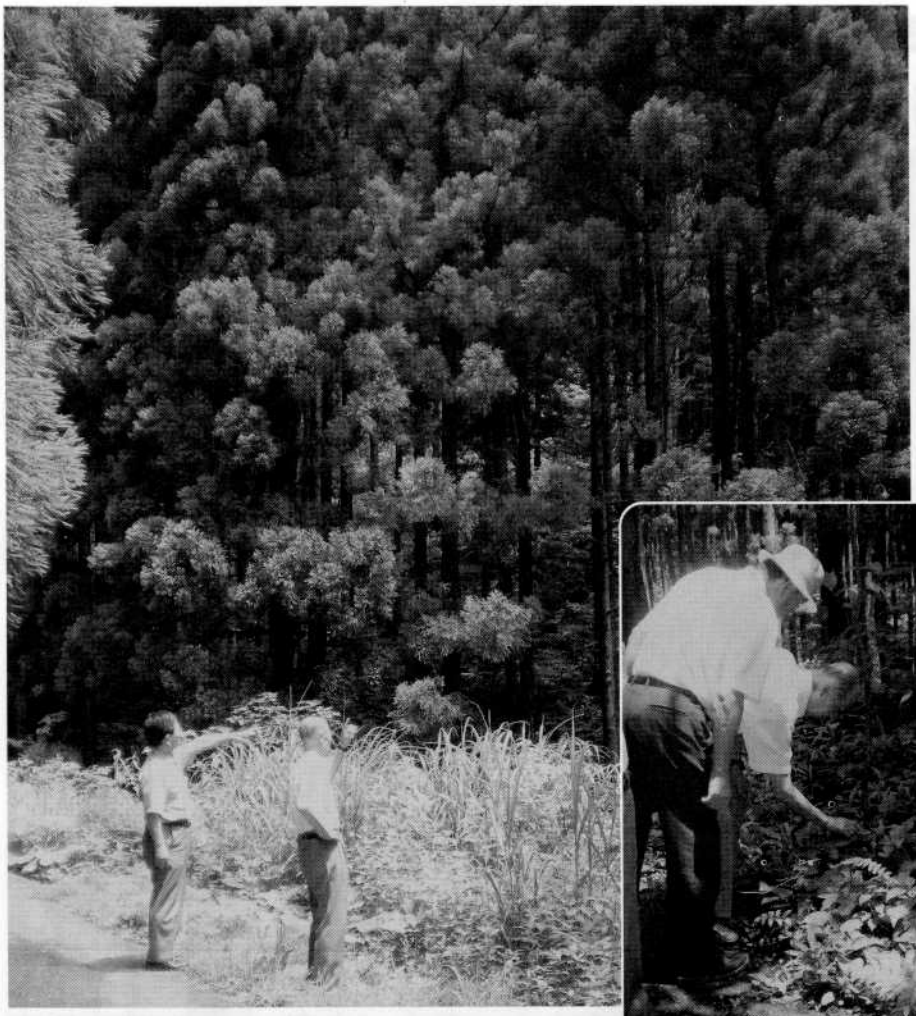
米沢有為会 米沢支部だより

第 21 号
平成22年８月１日
発行者
(社)米沢有為会米沢支部
支部長　安部三十郎
米沢市金池5-2-25
☎ 0238-22-5111

山林を視察



有為会所有の山林管理を山形支部から引き継いでいる米沢支部では、年１回程度現地を視察し、管理を委託している西村山森林組合にお礼の挨拶に回っている。山形県緑環境税事業による育林事業（間伐）を一昨年施業した現況とＧＰＳ方式による境界ポイントなどを確認した。（平成22年７月15日）

先人の思いを任って五十年

―見事に成育した杉の木に感激―

髙橋　勉

梅雨明け直前、日本各地で大雨による大きな被害が続出していた七月十五日、米沢有為会が所有している西村山の山林の現地視察に出かけることになった。この日も大雨注意報がでていたが、鈴木常務理事の車で梅津、手塚の両氏とともに米沢を出発する午前九時半頃には幸いにも雨が上がり陽も差してきた。

米沢を出発して約一時間半、車は国道二八七号線を通って大江町の黒森地区に着き、いよいよ山道に入った。山道は、幅員三メートル余と細道だが舗装されて路肩の雑草等はきれいに刈り取られ、山林の管理者の配慮が感じられる。

急勾配の山道を登ること数分、目的地の植林地に到着。下車して山林を目の当たりにして驚いた。見事に成育した立派な杉の木が、たくましく大きな成木になっているのである。そして、林立する木々の間から射す明るい光を浴びてそれは、まるで昭和三十年代に先人の篠田甚吉氏をはじめ山形支部の方々が、有為会の将来にはせた夢を五十年間、そのまま背負って伸び続けてきたことに誇りをもっているかのようであった。しばしその感激に浸り、まばゆいばかりに光る杉の木々に見入ったのである。

私は昭和三十二年から四年間、山形の興譲館寮に入寮させていただきましたが、当時、山形支部長の篠田氏は私達寮生にも何かと心配りをして下さって、その人徳に触れさせていただいた方でした。そのような思いのある方なので、目の前にしている杉の木は、まるで篠田甚吉氏と再会している思いになったのです。

そして、改めて篠田氏をはじめ先人の方々の米沢有為会に寄せる思いに感銘を新たにするとともに、整備管理して下さっている西村山森林組合の方々のご労苦に感謝し、感激の余韻に浸りながら、鈴木車は山道を下ったのでした。（副支部長）

教育功労者など表彰

米沢支部総会を開催

㈳米沢有為会米沢支部総会は六月十二日㈯午後二時から、ホテルサンルート米沢で開催。平成二十一年度庶務報告、収支決算を承認、二十二年度事業計画、収支予算案も可決しました。

理事の補充、新評議員選任のあと、百二十周年記念事業寄付事業の推進について報告がありました。

総会に引き続き教育功労者、特別顕彰の表彰式が行われ、次の方々を表彰しました。

受賞者を代表して県立置農高プロジェクトによる「出前授業」が発表されました＝写真下。

教育功労者

▼岡村哲幹さん

平成十七年度から市立第三中陸上部顧問を務め、熱心に選手を育成し、上位大会での活躍につながっている。特に平成十九年度県中総体では一九八一年以来二度目の女子総合優勝を成し遂げた。二十、二十一年度は全国優勝及び入賞する選手を育てるなど功績がある。また都道府県対抗女子駅伝チームの本県コーチとしても活躍している。

特別顕彰

▼青木順一さん

平成二十一年度県学童水泳記録会でCクラス（十一～十二歳）百㍍背泳で優勝、及び最優秀選手賞も獲得した。東京・晴海で行われたジュニアオリンピック全国大会に出場した。

▼紺野蒼夫さん

県学童水泳記録会で平成十九年Bクラス（十歳以下）五十㍍バタフライで優勝、二十年Cクラス五十㍍バタフライ準優勝、二十一年Cクラス五十㍍バタフライ準優勝と三年連続して入賞。ジュニアオリンピック全国大会に出場した。学校では児童会運営委員会のリーダーとなって活躍している。

▼大竹聖哉さん

第二十五回県小学生陸上競技大会で男子（六年）百㍍で優勝。全国大会へ出場し準決勝進出。記録の12秒51は二十一年度小学生百㍍のランキング一位にあたる。

▼木伏有希さん

第二十五回県小学生陸上競技大会で女子八十㍍ハードルで優勝、全国大会に出場した。県大会の記録13秒39は大会新記録で、県記録に100分の1秒差に迫る素晴らしい記録である。

▼遠藤花琳さん

第三十回東北中学校陸上競技大会一年生の部千五百㍍で優勝。

▼加藤優希菜さん

第五十五回青少年読書感想文全国コンクールで三位の賞にあたる毎日新聞社賞を受賞。（応募総数百四十一万七千五百七十五編）。

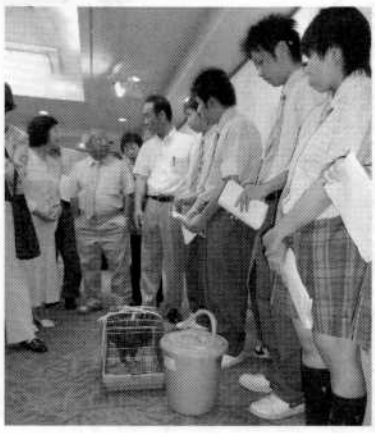
▼荒井夏実さん

二十一年度全国高校総合体育大会（インターハイ）フェンシング女子個人フルーレで第七位入賞。全国高校選抜大会の女子団体ベスト8入りの主力メンバーとしても活躍した。

▼県立置賜農業高校

生物生産科畜産選抜者で構成する置農MOTTAINAIプロジェクトチームは、生物資源の地域循環型社会創出を目ざし、地元ワインメーカーのワインのしぼりかすを再利用、家畜飼料を完成させ地域農家へ供給している。この飼料は低コストのうえ、やまがた地鶏において肥育促進や肉のうまみ成分の向上などの効果を上げている。

この取り組みに対し、平成二十年度エコ杯やまがた大賞や若武者育成塾最優秀賞ほか、二十一年度は環境やまがた大賞やコカコーラ環境教育賞「次世代支援部門」大賞などを獲得し、高い評価を得ている。



平成21年度　社団法人米沢有為会米沢支部会計決算書

自　平成21年４月１日
至　平成22年３月31日

〔収入の部〕

項　目	予算額 ①	決算額 ②	比較増減 ②－①	摘　要
繰越金	346,388	346,388	0	
会費	2,306,000	2,066,000	△240,000	通常会員会費@3,000×497人=1,491,000 特別会員会費@7,000× 65人= 455,000 賛助会員会費@10,000×12人= 120,000
事業収入	320,000	300,000	△ 20,000	支部総会懇親会会費 @4.000×34名 会員交流いも煮会会費@4,000×41名
諸収入	1,612	1,684	72	預金利子等
〔収入合計〕	2,974,000	2,714,072	△259,928	

〔支出の部〕

項　目	予算額 ①	決算額 ②	比較増減 ②－①	摘　要
1 本部費	1,153,000	1,033,000	△120,000	会費納付金　2,066,000×1/2
2 事業費	580,000	653,934	73,934	
教育奨励費	165,000	161,376	△ 3,624	教育功労·特別顕彰表彰状及び記念品等
産業振興費	75,000	60,000	△ 15,000	産業功労表彰状及び記念品
講演会·交流会費	250,000	338,878	88,878	講師謝礼及び交流いも煮会費
支部だより費	90,000	93,680	3,680	支部だより発行(2回)
3 管理費	1,075,000	747,747	△327,253	
事務費	180,000	180,000	0	常務理事報酬
会議費	20,000	0	△ 20,000	諸会議費
総会費	255,000	200,650	△ 54,350	総会後の懇親会費等
通信運搬費	300,000	154,835	△145,165	総会·理事会·会報·会誌等送料
印刷費	200,000	127,260	△ 72,740	総会案内葉書·封筒印刷等
諸手数料	50,000	51,760	1,760	郵便振替手数料(会費振込分)等
消耗什器備品費	40,000	31,121	△ 8,879	ゼロックス代等
交通費	20,000	0	△ 20,000	
諸雑費	10,000	2,121	△ 7,879	弔電代(佐藤他人太理事)
4 予備費	30,000	15,498	△ 14,502	創立120周年記念事業ツアー補助金
5 次期繰越金	136,000	263,893	127,893	
〔支出合計〕	2,974,000	2,714,072	△259,928	

平成22年度　社団法人米沢有為会米沢支部予算

自　平成22年４月１日
至　平成23年３月31日

〔収入の部〕

項　目	本年度予算額 ①	前年度予算額 ②	比較増減 ①－②	摘　要
繰越金	268,235	346,388	△ 78,153	
会費	2,396,000	2,306,000	90,000	通常会員会費@3,000×582人=1,746,000 特別会員会費@7,000× 70人= 490,000 賛助会員会費@10,000×16人= 160,000
事業収入	320,000	320,000	0	支部総会懇親会会費 @4,000×30名 会員交流いも煮会会費@4,000×50名
諸収入	765	1,612	△ 847	預金利子等
〔収入合計〕	2,985,000	2,974,000	11,000	

〔支出の部〕

項　目	本年度予算額 ①	前年度予算額 ②	比較増減 ①－②	摘　要
1 本部費	1,198,000	1,153,000	45,000	会費納付金　2,396,000×1/2
2 事業費	735,000	580,000	155,000	
教育奨励費	165,000	165,000	0	教育功労·特別顕彰表彰状及び記念品等
産業振興費	70,000	75,000	△ 5,000	産業功労表彰状及び記念品
講演会·交流会費	350,000	250,000	100,000	講師謝礼及び交流いも煮会費等
支部だより費	150,000	90,000	60,000	支部だより発行(2回)印刷、送料
3 管理費	885,000	1,075,000	△190,000	
事務費	180,000	180,000	0	常務理事報酬
会議費	10,000	20,000	△ 10,000	諸会議費
総会費	250,000	255,000	△ 5,000	総会後の懇親会費等
通信運搬費	200,000	300,000	△100,000	総会·理事会·会報·会誌等送料
印刷費	130,000	200,000	△ 70,000	総会案内葉書·封筒印刷等
諸手数料	55,000	50,000	5,000	郵便振替手数料(会費振込分)等
消耗什器備品費	30,000	40,000	△ 10,000	ゼロックス代等
交通費	20,000	20,000	0	
諸雑費	10,000	10,000	0	
4 予備費	30,000	30,000	0	
5 次期繰越金	137,000	136,000	1,000	
〔支出合計〕	2,985,000	2,974,000	11,000	

リレー随想 ⑧

祖父（赤井運次郎）のことなど

山形市　仁科義英

米沢人の多くの方は、我妻榮博士のことを知っている。そして、博士の郷土を愛する心の厚いこととともに、小学校時代の恩師赤井運次郎に対する生涯を通じた敬慕の態度について、よく語られる。その赤井運次郎は、私の父方の祖父である。私は、小さい頃、小学2年から4年まで（昭和35年から37年まで）の間、祖父と一緒に暮らした。

祖父には、男だけ6人の子供がおり、その6番目が私の父である（仁科家に養子に入り姓が変わった）。6番目の子の子供（つまり私）が、なぜ祖父と暮らしたか？　父は鉱山師（ヤマシ）であり、自分は一人鉱山暮らしで、妻と子供を自分の親（つまり赤井運次郎）のもとに寄寓させ、盆と正月に帰ってくる出稼ぎのようなかたちになっていたということのようだ。

さて、〝偉い〟祖父と一緒に暮らした処は、本五十騎町である。祖父の、孫（私や兄への）教育は、いろんな仕事をさせることであった。裏の畑は、掘立川に続いており、川から如雨露に水を汲んで、祖父が丹精の盆栽に水掛をするのが、兄や私の毎日の役目であった。また、鶏の餌に蟋蟀を捕まえて与えるとか、掃除をするとか、子供の役目はたくさんあった。教育者の祖父らしいことで、思い出すのは、当時、堀端にあった図書館に、風呂敷に包んだ本を届ける役をさせられたことだ。

祖父は、居間の真ん中に定位置を取り（座椅子があった）、そばには火鉢があり、煙管に刻み煙草を押し込んで吸っていた。そして、火鉢の脇あたりに、〝本当に偉い人〟から贈られた裁判の本が置いてあったりして、この人は偉い人なんだぞと聞かされた。その人が、我妻榮博士であった。

後年、自分も興譲館高校に入り、我妻博士の講演を聞かせてもらったり、東京で大学生生活をしたときには、博士が郷土出身の学生を呼んでくれた懇親会に出させてもらったり、本物の偉い博士を間近に見ることができたことであった。

祖父も逝き（昭和44年、92歳）、父も逝き（昭和52年、52歳）、遠い昔の話である。

記念事業協賛金のお願い

皆様もご承知の通り米沢有為会は昨年百二十周年を迎え、記念事業として東京・仙台興譲館寮の大規模改修の実施や、我妻榮記念館の補修工事、奨学金貸与制度の充実など事業の充実を計画しております。

ついては皆様方には協賛依頼状と振込用紙が届いていると思います。既に多数の方々からご協賛頂いておりますが、まだの方にはよろしくご賛同をお願い申し上げます。期間は二十二年十一月三十日までとなっております。

支部会員の状況

地区名	21年度会員数	地区名	21年度会員数
米沢市	493	山形市	36
長井市	19	その他	15
南陽市	29		
高畠町	40	計	668
川西町	30		
白鷹町	5	加　入	104
小国町	1	退　会	66
飯豊町		増減	38

編集後記

▼天候のことを書くのは到着日の兼ね合いもあって難しいが、連日暑い日が続いている。熱中症にかかる人が多発し、室内でも熱中症になるというのでご用心。▼対策に欠かせないのは、こまめな水分補給という。朝起きてすぐ、食事時、十時と三時の一服時、入浴前後、就寝前と摂取するのが効果的。健康で夏を乗り切りましょう。（山）

～ 活躍する会員紹介 ～ ⑨

(財)米沢上杉文化振興財団
常務理事(兼)事務局長　磯部道昭さん

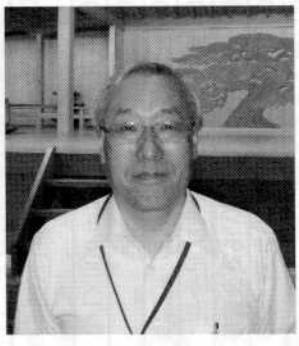
(Q) 昨年は「天地人」ブームで大いに沸き上がった米沢市ですが、その後の動きはどうですか。

(A) ＮＨＫのＴＶ放映にあわせ県市を挙げて「天地人博2009」を開催しましたが、予想をはるかに上回る51万人の観客があり、大きな効果があったと評価しています。

その後の動きとしては、昨年は別格として、それ以前の平年ベースと比較して３～40%の増加となっています。天地人の余韻がまだまだ残っているといえるでしょう。

(Q) 大きなチャンスだった天地人ブームを、これからどう活かしていきますか。

(A) ポスト天地人として、米沢市を挙げて知恵をこらした企画に取り組んでいます。特に「直江兼続生誕450年祭」をメーンテーマに展開されていますが、上杉博物館として「戦国大名とナンバー２」を特別展示しました。上杉景勝と直江兼続の主従をはじめ、前田家、真田家、伊達家などの主従ゆかりの資料を展示しました。秋には「上杉家家臣団」を特別展示予定です。



(Q) 置賜文化ホールとのコラボもあると聞きましたが。

(A) 洛中洛外屏風をイメージした屏風ライブシリーズ「４つの扉」を実施しています。それぞれの音楽家がイメージした作品を自慢の楽器やユニットなどで演奏します。２回は終了していますが、秋に２回発表会がありますのでお楽しみ下さい。